



とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1850



吐竜の滝 (提供: 澤井博広報・会報委員長)

第1850回 例会 平成22年2月16日

点 鐘 … 狩野 勉 会長
ロータリーソング … それでこそロータリー
来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 狩野 勉 会長
御 祝 披 露 … 狩野 勉 会長
誕 生 祝 … なし
結 婚 記 念 日 … なし
入 会 記 念 日 … 木樽 定雄 会員(2月15日)

幹 事 報 告 … 吉田 孝至 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会
卓 話

「我が国の財政及び税制について」
銚子税務署 署長 小磯 吉雄 氏
出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

第8回定例理事役員会 (例会終了後)

来週のプログラム(平成22年2月23日)

卓 話

「国際協議会に参加して」

第2790地区ガバナーエレクト

織田 吉郎 氏
お食事処「笠上商店」



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009~2010年度 RI 会長 ジョン・ケニー (John Kenny)



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

第 1849 回例会(平成 22 年 2 月 9 日)

会長挨拶

狩野 勉

本日は野平匡邦銚子市長に卓話をいただきます。先日、卓話をお願いいたしましたところ、ご多忙にもかかわらず、時間を割いていただき、快く引き受けていただきました。ありがとうございます。よろしく願いいたします。

世界の辺境等を旅している作家の椎名誠さんの「見えない環境」と題するエッセイを読みました。例えば、「ネパールのシェルパ族は殆ど星空に関心はない。行ってみると毎日夜になると満天の星空だった。ぎっしり詰まった星々の間から夜の闇が見える、という逆転現象を起こしている。そこに住む人々は生まれたときからそういうぜいたくな星空を見ているから、もう見慣れていてさして関心はない。」とか、「南の島の人々はおしなべてサンゴに興味がない。」「ロシアのレナ川は北極海まで 4000km の大河であるが、冬はマイナス 40 度以下になり、完全凍結し、春になると厚さ 2m にもなる氷が流れ出すので橋がつかれない。橋のない川を見ていると、橋のある川が異常に見えたりする。日本は全国に 3 万 5 千本の川があり、橋の数もすさまじい。」、さらに「自動販売機の数も日本には 550 万台ある。いつも冷やしておく必要があるので 24 時間稼働している。その電力エネルギーは原子力発電所 1 基分に相当するらしい。膨大な消費エネルギーが日本人には一番見えない環境になっているようだ。」など、いつも見えているので、目に慣れすぎており、逆に全く「見えない環境」になっているという主旨でした。

常に同じ状態にあれば、全く気にもかけないで、日常生活を過ごしていることが「あたりまえ」の人々が多数を占めていると思います。「朝、太陽が東から昇り、夕方西に沈む」のは当たり前と考え、地球を中心に太陽が回っているという天動説が唱えられたのは当然であったように思います。しかし、「なぜそうなんだろう？」と疑問を持ち、観測し、論理的な説明によって「地動説」を唱えたコペルニクスやガリレオ等が存在するのが人類です。

現在でも、当然と思われることを当たり前として見過ごすのではなく、発想を変えて考えてみる人はもちろんいると思います。

住み慣れた町から、離れてみると、意外な「良い点」や「弱点」が見えたりすることはよくあることです。内

側においても、ちょっと意識すれば「見える」ことがあります。

これからの生活環境をよりよくして行くためのコミュニケーション的発想はいつの時代も求められているのではないのでしょうか。

幹事報告

- 1・R I 国際本部より
・2008-09 年度年次報告 受領
・ロータリーワールド
- 2・ガバナーエレクト事務所より
会長エレクト研修セミナー開催のご案内 受領
- 3・パストガバナー 白鳥政孝様より
合同例会会報お礼状 受領
- 4・ロータリーの友事務所より
2010-11 年度版ロータリー手帳お買い上げのお願い 受領
- 5・千葉県立銚子特別支援学校より
「第 47 回卒業証書授与式」御案内 受領
- 6・例会変更のお知らせ
小見川 RC より
2/17(水) 休会 2/14 IM の振替の為 受領
☆週報受領 旭 RC

卓話

「銚子市の未来」

銚子市長 野平 匡邦 氏

◇自治体における弁護士の役割

私は、1 期目の市長の任期終了後、弁護士の道を志し、司法修習生としての研鑽を経て、昨年 1 月に弁護士の資格を取得しました。

弁護士活動を始めてまもなく、再び

銚子市長に就任することになりましたが、今日の地方分権の進展、情報公開制度の整備、自治体におけるコンプライアンスの確立の必要性、あるいは、行政争訟の高度化・専門化などの背景から、自治体における弁護士の役割がますます強くなっていることを実感しています。

銚子市での現時点における弁護士の活用の状況ですが、在京の弁護士を顧問弁護士として 1 人お願いしています。その方ともう 1 人弁護士を市民相談員として委嘱し、毎月 2 回銚子市役所で法律相談を行っていただいております。また、銚子で唯一開業されている「銚子ひまわり基金法律事務所」の泉英伸先生には、銚子市公平委員という公職（3 人のうちの 1 人、銚子市職員労使紛争の調停機関）に就いていただいております。



さらに、顧問弁護士の先生と泉先生のお二人には、法律事務所職員、税理士、司法書士、県税事務所長OB、税務署長の方々に構成する「特定市税等債権対策委員会」にも参画してもらっています。この背景には、極めて低い市税収納率の現状があります。当時の収納率は78%台で簡単に言えば、約100億円課税しても、78億円しか徴収できない状況ということで、過年度分の滞納額がどんどん膨らんでいくという構造です。私は、平成14年から平成18年までの1期目4年間でこれを組織したところ、収納率が2.7%改善しました。収納率が4年で約3%上がることはすばらしいことだとお褒めをいただいたことがあります。

そして何とんでも、銚子市における弁護士の活用の象徴的な取組は、市立病院の再生についての取組みです。「銚子市立病院再生準備機構」という、2名の弁護士を含む7名の委員による非常に特殊な専門家チームを立ち上げ、委任契約を締結し、現在、医師等の招聘活動や病院再生の構想づくりに八面六臂の働きをしていただいております。

なぜ、こういう集団としたか、しかも、その中心を弁護士としたかについてですが、お医者さん方とさまざまな相談や交渉を行うときに、病院問題のような特殊な仕事は、従来型の行政しか知らない市の職員にはとても歯が立たない。やはり弁護士や大学教授であるという、お医者さん方から見ても相応の方でない、病院の再建と医師招聘の仕事は難しいと判断したからです。

このことは、病院再生を担当している市側の職員もたいへん勉強になっていて、リーガルマインドの脇の甘い主張を職員がぶつけても反撃されて、ほとんど相手方の言うとおりに決着し勉強させられる結末になっています。

さて、今後における更なる弁護士の活用方法ですが、まず、市税を滞納する人は多重債務者が多く、この多重債務の過払い案件の処理は非常に難しい。また、不動産の差押えや競売手続が始まったとき、あるいは、民事再生のような案件が出た場合、市としてどのように未収債権を処理していくかについてなどには、是非とも弁護士の力が必要であると思っています。

最近でも、民事再生の問題が発生し、未回収債権と土地問題をからめて対応していくために、東京の3人の弁護士に委任して、現在もいろいろと交渉いただいております。

この委任業務においても、職員ともどもさまざまな勉強をさせていただいています。「下水道債権は優先債権で、一般債権である上水道債権とは違う」ことや、「土壌汚染などの瑕疵担保責任をきちんと追及できるような形でやれないのか」など有益な判断材料や情報をいただき、大変助かっております。現在、特定の職員2人に「法務担当という仕事を人事異動があっても2人で常にやれ」と言い渡し、特定の個人にノウハウが蓄積されるような体制はつくりましたので、もし弁護士を市の中で雇用で

できれば、職員がさらに育ち、法的解決能力が相当向上するのではないかと期待しています。

私としては、3年程度の期間で構わないので、市職員として雇用できないものか考えています。1つの方法としては任期付職員制度があり、私は市長の最初の4年間に全国公募で、ラインの部長も含めて、いろいろなポストで任期付職員の活用をしました。この制度は実際に使いやすいので、弁護士という国家資格を有する専門職の活用については是非前向きに取り組んでみたいと思っています。

いずれにしても、地方行政における弁護士の役割は、今後たくさん出てくるのではないかと考えているところです。

『友』インターネット速報

2010年2月2日 No.414

ロータリアンが見たハイチ大地震後の混乱

ヒューストンロータリークラブの会長であるミシェル・ボーリアさんの夢は、いつの日かハイチを訪問し、現地の子どもたちの生活改善のためのプロジェクトを行うことでした。1月12日、そのプロジェクトを行うためにボーリアさんと5人の会員から成るチームがハイチに到着してから45分後、夢は一瞬にして悪夢に変わりました。

大地震発生時、チームは児童養護施設での水プロジェクトを実施するためにハイチの首都に向かっていました。「地震発生の数分後、何千人もの人々が道路にあふれかえり、走ったり、叫んだりしていました。大勢の人々が血まみれで歩いていました」とボーリアさん。首都は壊滅状態に陥り、最大で約20万人の命が失われたとみられ、数百万人が負傷。被災者に食糧、水、薬を届けるために、国際的救援活動が動き出しました。

「その光景、音、匂いは想像を絶するものがありました。決して忘れることはできません」と話すのは、ヴィッキー・ブレンティン会員です。

一行は4日間ポルトープランスにとどまり、できる限り人々の助けになろうと努力しました。崩壊した病院を見つけた彼らは、がれきの中から鎮痛剤や抗生剤を集め、けが人たちに配りました。

同15日、チームはチャーター機でドミニカ共和国に避難し、翌日、ヒューストンに戻りましたが、ボーリアさんは「いつかハイチに戻って、復興を手伝いたい」と語っています。この地震については、多くのロータリアンが被害者に支援の手を差し伸べています。

表紙コメント

吐竜の滝（どりゅうのたき）

竜が水を吐いたように流れる景観が名前の由来。落差約10m、幅約15mの滝が苔むした岩の間から白糸のように細く流れ出る姿は清楚で美しい。川俣東沢溪谷の名所。

インターシティー・ミーティング

日時：平成 22 年 2 月 14 日（日） 点鐘 13：20
会場：黄鶴



次年度会長・幹事紹介



懇親会アトラクション
「デュオ・アンダンテ」



井上 G 補佐

基調講演
織田吉郎
ガバナーエレクト



意見発表
杉浦武
会長エレクト

前回の例会(2/9)報告

点 鐘 狩野 勉 会長

出席報告

会員総数	34 名	出席規定除外数	7 名
出席者	19 名	出席率	70.37 %
1月26日		確定出席率	74.07 %

来訪ロータリアン

杉山俊明君 (銚子RC)

欠席者 8名

メイクアップ

IM登録者(全会員メイクアップになります) (2/141. M)

スモールコインBOX	小 計 ￥ 2,005-
	累計 ￥ 47,850-
ニコニコBOX	小 計 ￥ 6,000-
	累計 ￥ 445,800-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 狩野 勉 副会長 杉浦 武 幹事 吉田孝至

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 澤井 博・澤田武男・大内恭平・山本幸男・杉浦 武
表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。